

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年10月27日

事業所名:ONE RISE

対象人数(保護者)23人 回答者数 20人 回収 87%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・ゆとりあるスペースを確保しつつ、安全性を考慮している。	・まだ見学させて頂いてないのでお答えできません。 ・コロナの事を十分気を付けて貰えたら。 ・1回の利用時で何人くらいですか？ ・狭い気がします。 はい:15 いいえ:2 どちらでもない:4	・集団活動が行えるよう死角のない指導員の目が届く一つの空間を確保しております。 ・今後、施設の見学会を検討していきたいと思えます。
	2 職員の適切な配置	・国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っている。	・皆の事を気にかけてくれるので大丈夫だと思ふ。 ・OT、STなど専門の方がどのくらいいるのか？	・職員の配置は今後も手厚くしてまいります。 ・現在は作業療法士の資格を持った指導員も在籍しております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリーは行っている。その都度工夫し、改善を行っている。	記載なし はい:8 いいえ:1 どちらでもない:12	・来所・退所時も安全に過ごせるよう、配慮してまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるよう徹底している。	記載なし はい:8 いいえ:1 どちらでもない:12	・日々の清掃・消毒液の散布を行っています。が、今後も継続して強化して行きます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・会議を毎日持ち、療育内容や指導の在り方を共有・検討しています。		・今後も会議を持ち、日々向上を目指します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。		・今後も定期的に第三者の方に来ていただき、施設の現状を見ていただきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・事業所内での開催を企画しています。		・職員の研修は今後も増やしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者の方から聞き取りを行い、それを元に作成をさせて頂いております。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・今後も各関係機関と連携を取り、支援の質の向上に努めていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別での支援・集団での支援を項目に入れて作成しております。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・今後も個別・集団と保護者の方がより理解されやすいような表現と連携を目指します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・今後も支援内容が分かりやすいように記載することを心がけていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援に関して、個別支援計画書通りに全職員で確認し実施しております。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・毎月、全職員にて療育内容の立案・作成をしています。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・職員全員でプログラムを検討し、より良いプログラム内容を作成していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・療育時間が違いますので、日々利用者様が見通しをしやすいように工夫しております。	記載なし はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・今後も曜日や季節に応じた支援を提供していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動プログラムが同じにならないように、変化をつけて行っております。	・いつも楽しい企画ありがとうございます。 はい:21 いいえ:0 どちらでもない:0	・放課後等デイサービスガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立てております。今後も子どもたちが個々のペースで楽しんでいけることを大切にしていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日、会議で療育内容の確認・職員の仕事分担を行っております。		・今後も徹底していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・職員間で共有し、課題があれば話し合いを行い共有し、解決を図っております。		・今後も職員間で共有をしっかりと行っていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・毎日、支援の記録をひとり一人行い、支援の改善が必要な場合は会議を持っています。		・今後も必要に応じて、実施していきます。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っております。		・今後も定期的に見直しを行っていきます。	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・毎月、代表・管理者による会議を開催し、連携を図っております。		・今後も定期的に会議の場を設けていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、地域・学校とその都度連携を図っております。		・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、協力医療機関への相談や主治医の確認は行っていますが、コロナの状況もあり医療機関との連携が少なかつたと思えます。		・今後も必要に応じて、医療機関と連携を図っていきます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	・主に児童発達支援管理者・代表・管理者で行っております。		・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・卒業生になる子がいませんでしたが、連携は行っております。		・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。		・今後も研修に積極的に参加をしていきます。
	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・今年度は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、交流を持つ機会はありませんでした。	・コロナ禍でもあるので特に望んでいません。 ・大勢はコロナが気になるから。 ・コロナ対策の為に出来ないことなど説明頂いている。	・地域の祭りや音楽祭・バルに参加をしてく予定です。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。	記載なし はい:5 いいえ:1 どちらでもない:15	・今後も地域に開かれた運営を目指していきます。
保護者への説明責・連携支援	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約の際に説明しております。また、支援内容に関しては日々の連絡帳やラインを使い、行っております。	記載なし はい:19 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・児童発達支援管理者が主に説明を行い、ご理解を頂けるようにしております。	記載なし はい:19 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も分かりやすく丁寧に説明する事を心がけてまいります。また、制度や支援について相談していただける事を周知出来るよう努めます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・新型コロナウイルスの関係で実施出来ませんでした。	記載なし はい:19 いいえ:0 どちらでもない:2	・ペアレント・トレーニングは、利用者様のケースに応じた研修会など実施する運びにしています。
	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	・LINEで活動中の写真の連携をしていただき、活動の内容がとてわかりやすい。 はい:20 いいえ:0 どちらでもない:1	・LINEや電話・連絡帳などで今後も伝わりやすいように工夫をし、理解を今後も高めていきます。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	記載なし はい:19 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も相談を受けた際には適切な対応、助言を行っていきます。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在、保護者会はありませんが、今後作る予定となっております。	・コロナのため、仕方ないかとは思いますが、今後開催があれば是非参加させていただきませう。 ・コロナ禍でなかなか難しいと思いますが、オンラインでもいいので保護者勉強会的なものがあつたら嬉しいですよ。 ・保護者同士の交流は望んでないです。開催されても出席しないと思ひます。 ・コロナ対策の為に出来ないことなど説明頂いている。	・保護者会は今後検討してまいります。研修会に関してもコロナの状況を考え積極的に進みます。
	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があつた場合の迅速かつ適切な対応	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	・人による。 ・出来てる人は凄く出来てるけど、出来てない人は全く。返事が雑。乱暴。 はい:18 いいえ:0 どちらでもない:3	・相談体制について、周知に努めていくともにより良い方法を検討して進みます。 ・保護者様への対応について、接客マナーの研修などを取り入れて進みます。
	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	記載なし はい:21 いいえ:0 どちらでもない:0	・言葉だけではなく、視覚的に分かりやすくなるよう写真や絵カードを使用するなど、伝える方法をお子さんに合わせるように進みます。保護者の皆様とのやり取りに関しても、より良い方法を検討してまいります。
	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。	記載なし はい:17 いいえ:0 どちらでもない:4	・ホームページの更新頻度を増やしてまいります。
	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきように進みます。	記載なし はい:18 いいえ:0 どちらでもない:3	・個人情報に関しては今後も細心の注意を払い取り扱います。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各マニュアルを作っており、職員間で周知徹底しております。	・外で遊ぶにしてもマスクをつけて欲しい。 ・していただいているかわかりません。 はい:17 いいえ:0 どちらでもない:3	・緊急時マニュアルを今後も確認し、新たに増やすべき項目がないか検討し随時更新して進みます。
	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るように進みます。	・していただいているかわかりません。 はい:19 いいえ:0 どちらでもない:0	・定期的に避難訓練を実施し、活動内容について周知出来るように進みます。
	虐待を防止するための職員研修機会の確保の適切な対応	・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。		・虐待防止に関しては絶対にあってはならないという危機感を全職員で共有してまいります。
	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず説明と了解を受けてからの実施を致します。		・今後も事前に確認・記載の徹底を行い、必ず会議で全職員が周知出来るように徹底します。
	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないように進みます。		・今後も職員間で情報の共有を行い、事故がないように進みます。
	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。		・ヒヤリハットに関しては今後も多くの事例を例題にして全職員から意見を求め支援の方法や対応の方向性の一致を図ります。

◎自由記述による意見

- ・凄く楽しみです。毎日楽しく通所できています！
- ・現状に大変満足しています。
- ・簡単な英会話を授業してみるとかあればいい。
- ・お箸の練習、我慢の練習、勝負に負けることを受け入れる練習などあればいい。
- ・現状で満足しています。
- ・フラフープをして欲しい。
- ・良い刺激になるのであればいろんな事にチャレンジさせたいです。